

ソーシャルリーディングを支援する Facebookアプリの開発

～高校生小論文作成時の読みフェーズに着目して～

佐藤 朝美*

高橋 淳**

高橋 薫*

谷内 正裕**

藤本 徹*

山内 祐平*

東京大学大学院情報学環*

株式会社ベネッセコーポレーション**

研究背景

- 高橋ら（2012）の研究

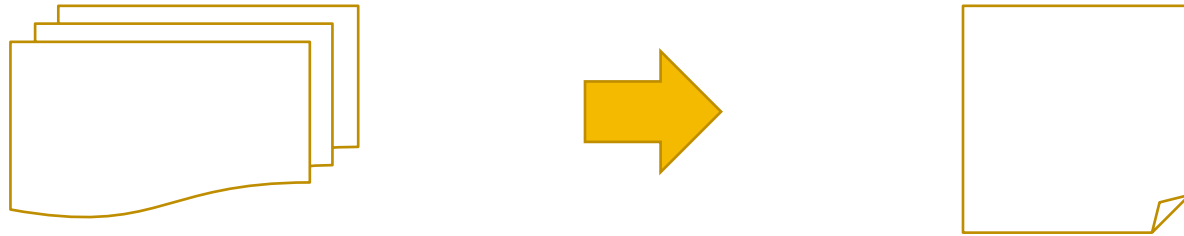
Facebookを学習管理システム(LMS)として活用し、通信教育で小論文を学習している高校生を対象に、小論文のプランニングと文章化を支援する学習コミュニティを開設し、実践。

ミッション	内容
1	課題を理解する
2	書くための知識を得る
3	得られた知識を整理する
4	アウトラインをチェックする
5	小論文を書く
6	小論文を提出する



目的

調査・報告型レポート



集めてきた情報を整理・分析し、1つのレポートにまとめる

★小論文




テーマに沿った
情報を集める

情報を読み込み、
自らの問いを定める

主張を展開するレ
ポートにまとめる

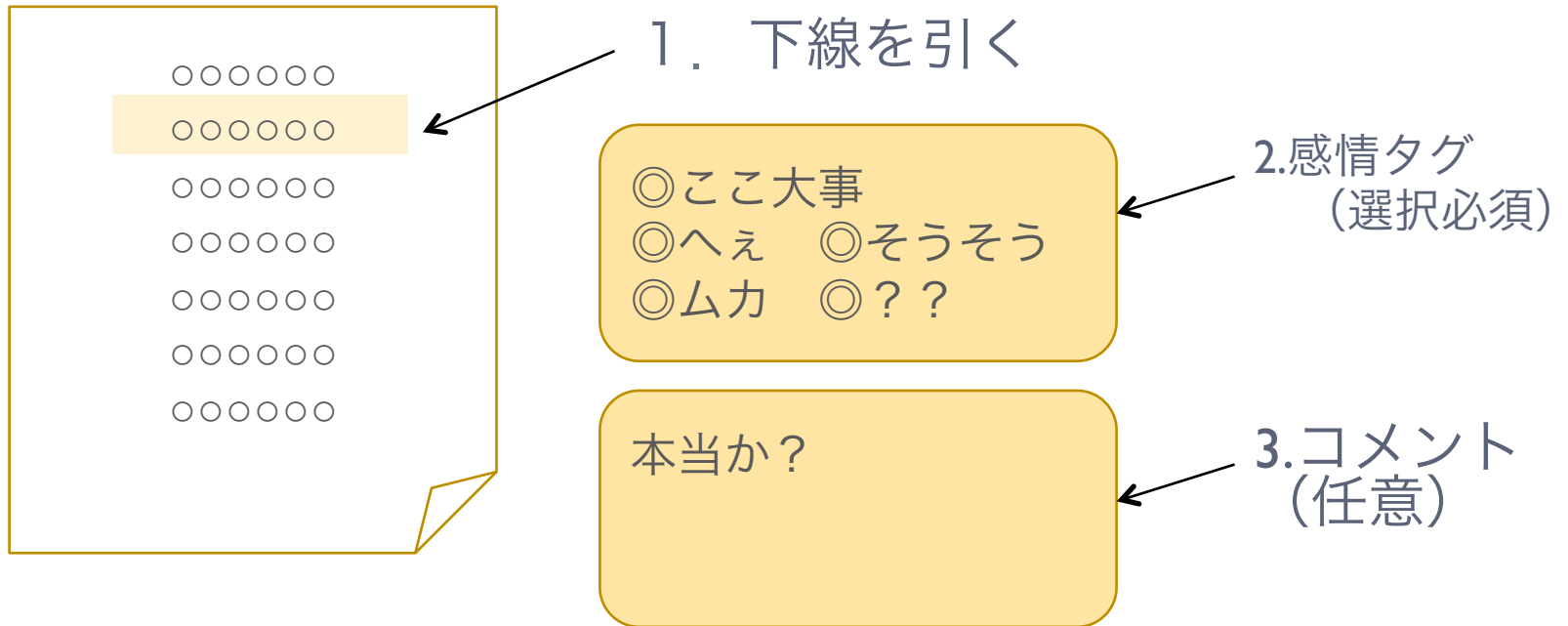
目的

ミッション	内容
1	課題を理解する
 2	書くための知識を得る
3	得られた知識を整理する
4	アウトラインをチェックする
5	小論文を書く
6	小論文を提出する

高橋らの研究を継続・拡張し、
「読むフェーズ」を支援することを目的とする。
参加者同士をつなぎ、「読むフェーズ」においても
情報共有を可能とする環境の構築を行う。

読解支援の先行研究

- 鈴木ら (2011)



問題構築的読解／問題発見における直感と感情の役割
外貨による気づきの洗練／直感・感情にもとづく文献読解における外化

高校生の批判的読解

- 批判的思考は発達段階的にも中高生に育成可能なスキルであるものの、日本においては育成の取り組みが少ない
- 批判的思考への態度と友人関係の両立が難しく、ネガティブなイメージを抱かれる

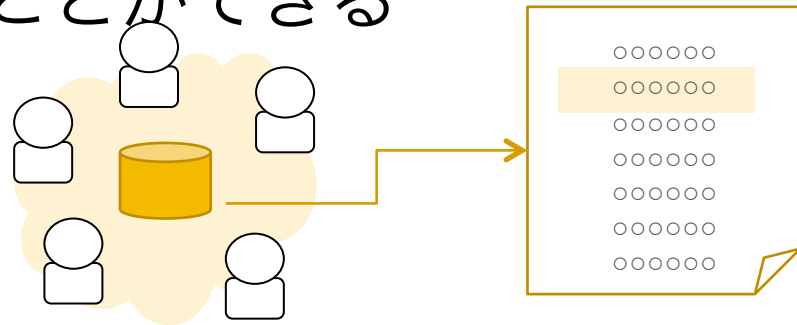
鶴田 美里映, 有倉 巳幸 (2007). 高校生における批判的思考態度と自己表現の関連性の検討. 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要 17, 235-245.

- メールやチャットでの「顔文字」の使用をコミュニケーションが不得手な若者の自己表現の新たな方法, ポライトネスストラテジーとして用いている

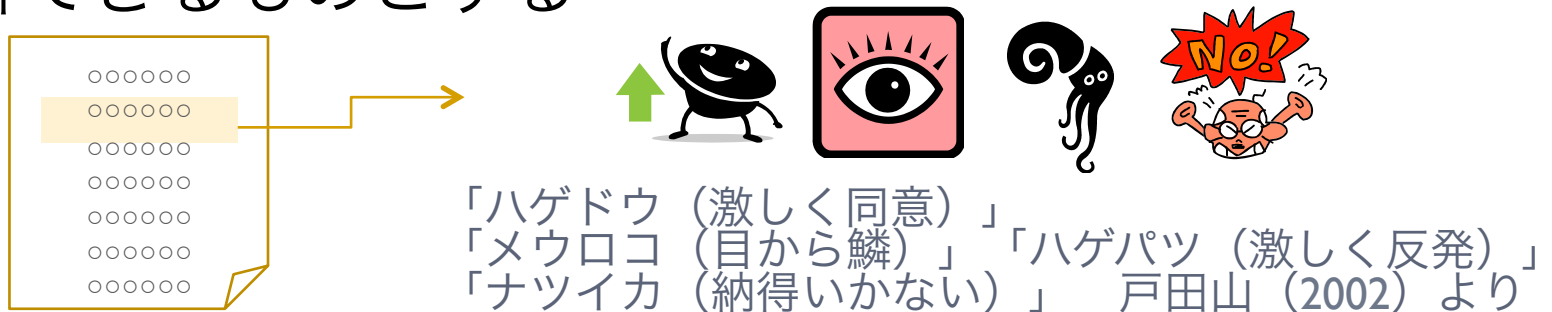
原田 登美 (2004) 「顔文字」による日本語の円滑なコミュニケーション: 「配慮」と「ポライトネス」の表現機能. 言語と文化 8, 205-224.

本研究の読解支援の要件

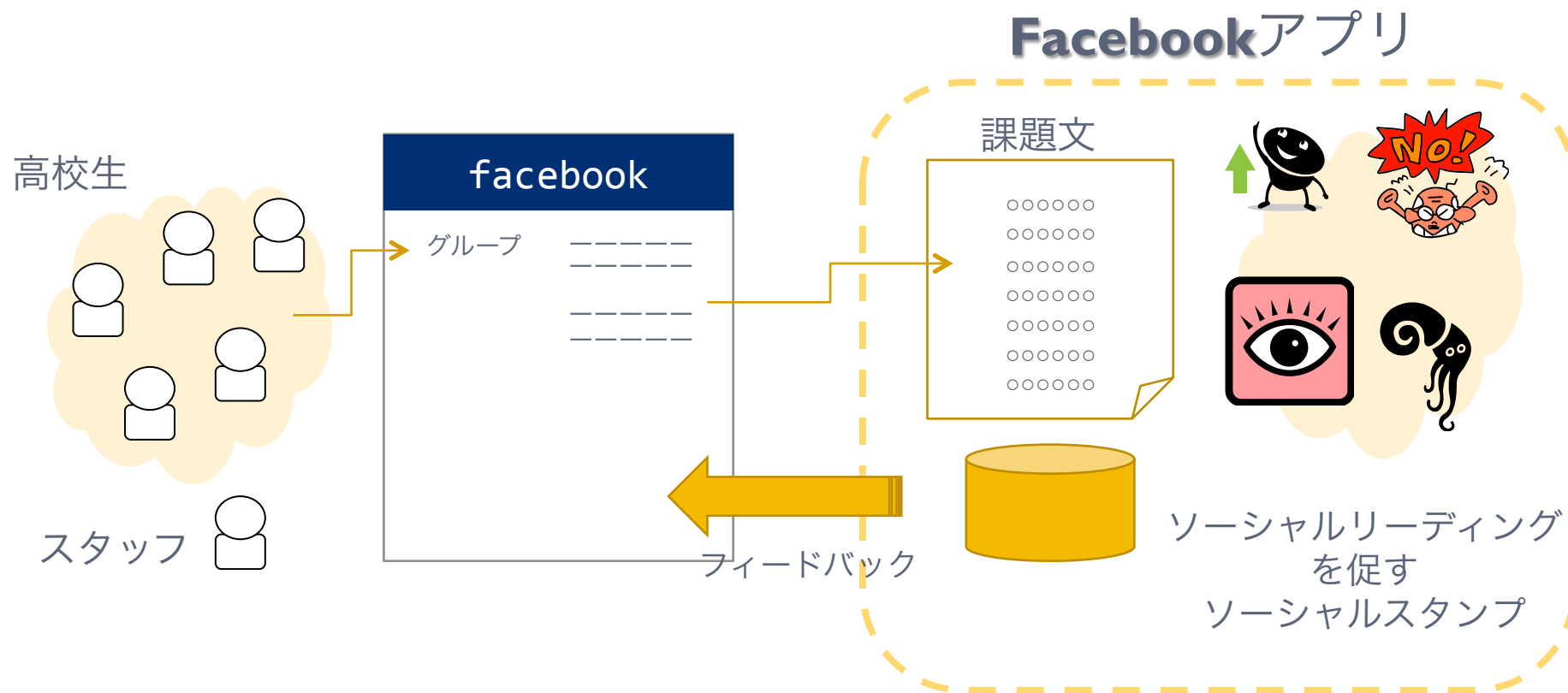
- 「感情タグ」をマーキングし，その情報を他者と共有しながら読むことができる



- 「感情タグ」のマーキングは，絵文字のような表現を和らげ，容易に付加でき，視覚的に容易に理解できるものとする



支援イメージ



- 小論文活動への参加者（高校生）がfacebook上でグループを作り、課題文と一緒に読み合う。
- 課題文にマークしたスタンプやコメントを共有し、自分なりの問いや主張を練っていく

今後のスケジュールと課題

- Facebookアプリの評価実践は，2013年1月を予定
- 提案したFacebookアプリの実装と，機能が本当に高校生の問題構築型読解を支援するのかについての形成的な評価を行う予定
- 特にソーシャルリーディングを促すソーシャルスタンプのあり方について検討していく

ご清聴ありがとうございました。